

## 2018 第7回 ミドリリンピック開催

『長坂センター秋の交流会』



9月29日(土)第7回ミドリリンピックが長坂にて開催されました。当日はミドリリンピック始まって以来の雨。迫る台風の影響か、はたまた秋雨前線の停滞か、これまでの緑の風パワーももはやここまでか・・・とスタッフ共々少し沈んだ気分になっていましたが、終わってみれば天候もなんのその、みなさんのパワーがミドリリンピックを盛り上げてくれました。今回は町田ボーイスカウトのみなさんが、陸上版「カーリングゲーム」を準備して実施してくださいました。このゲーム、思ったより「熱狂」します。また、昨年好評だった「ミュージックケア」も再登場。音楽に合わせて身体を動かすとなんだか気持ちも身体もスッキリし、穏やかな気持ちになりました。閉会式後の記念撮影をみていただくと、アットホームなミドリリンピックの雰囲気を感じられると思います。生憎の雨ではありましたが「大成功」!

今年もみなさんの協力と応援をいただきながら、盛大にイベントを実施できたことを嬉しく思います。本当にありがとうございました。

(長坂 ミドリリンピック運営委員より)

### □、つづやき (vol.1)

緑の風、藤村出です

麦の会便りのコラムをお引き受けすることになりました

書き物に造詣の深い会員みなさまを前に、駄文、誠にお恥ずかしいのですが、ご依頼とあり、折々に思うこと書かせていただきます

カタイ文章は苦手です

ご挨拶だけちょっとまじめに、あとは普段の調子で書きたいと思います

まずは、ボクの生い立ちについて

ぼくは、子どもの頃から「ちえおくれ」の子どもたちを友だちに遊んでいました

近所の仲良しは、みんな年上のアホな兄ちゃんたちです

当時「ちえおくれ」、現代では、知的障害と呼ばれる重度の障害児です

あるとき、ボクが乗っていた自転車に不調があって、みんなで直そうという相談をします

まずは分解をして、悪いところを直そうと考えて、みんなで自転車をバラしました

なにが悪いのか、バラしても結局よくわからないので、組み立てようという話になるのですが、バラされた自転車は組み上がりません

そのうちにみんなでまた相談です

→ 4面に続く

## 《働き続けるための支援事業》

### 就労者（OB/OG）との交流会

#### 長坂センターより

緑の風を退所し、地域で仕事をしている OB/OG と年に 5 回交流会を実施しています。緑の風で行われるイベントに誘うこともありますし、OB/OG 限定で企画を組むこともあります。ボウリング大会等は毎年恒例となり、みんなが楽しみにしている定番交流会となりました。多くの社会参加や経験を増やしてほしいと願い、でかける場所や交流会の内容も考えています。知らない場所に 1 人で行って何かをするということはとても勇気のいることです。みんなで行って、ワイワイやれば、ちょっと自信が無くても大丈夫。普段料理なんてしない人も美味しいピザが焼けちゃう。参加する人は事前に電車の時間調べて、当日は間に合うように朝準備をして、家を出て、駅で切符を買って、指定された駅で降りて、何気ない行動かもしれませんが、ひとつひとつが経験です。できたことが次への自信と行動につながります。この前はみんなと一緒にだったけど、今度は 1 人で行ってみようとか、別な友達を誘ってみようとか。仕事をしてお金を稼ぐことも大切ですが、日頃の生活や余暇が充実し、それらを楽しめるということもどんどん体験して行ってほしいなと思っています。

（長坂センター 木田友紀子）



## 《三浦半島～横浜へ一泊旅行》

### 千代田センターより

今年の JSP ちよだの一泊旅行は、9 月 20～21 日で三浦半島（京急油壺マリパーク、ソレイユの丘）～横浜（マリインタワー、人形の家、中華街）方面へ行ってきました。

今年度は一泊旅行初参加の方が 2 名いました。彼らは旅行の 2 週間ほど前から“どこに行くのか”“何をするのか”がわからず不安になったり、いつもと違う予定、慣れない場所で寝ることなどにも抵抗があり、「行きたくない」「嫌だ」「寝ない」と言っていました。

今年も写真付きのしおりを用意し、どのような場所に行き、何をするのか等を事前にお伝えしました。旅行中の食事はバイキング形式も多いと思いますが、自由に食事を選ぶことの難しさや、どこまで食べていいのか終わりがわからないため、旅行会社をお願いをし食事はお膳で一人分をわかりやすい形で提供していただきました。

行く前は「行きたくない」「嫌だ」「寝ない」などと言っていた利用者さんも、バスに乗ってからは終始にこやかで誰よりも早く就寝し、帰ってきてからは「旅行、〇マル」と話してくれました。

今年度も私たちは“一人ひとりの障害特性に配慮した環境を提供する”ことをテーマに日常の支援を進めています。ここ数年、千代田センターは高齢化や障害の多様化が課題となっています。これまでは全員で同じ場所に行き、同じ体験をしてきましたが、それらが難しくなっています。次年度に向け、旅行の在り方、実施の方法を検討しなければなりません。

（千代田センター 青柳美沙子）

9月20日 もくようび りょうこう 1にちめ	⑤ バスにのる	9月21日 きんようび りょうこう 2にちめ	⑤ バスにのる
① バスにのる	⑥ どけいをつくる	① おはようございます	⑥ マリインタワー
② すいぞくかん	⑦ ホテル	② へやできゆうけい	⑦ にくまんをつくる
③ おひるごはん	⑧ へやできゆうけい	③ あさごはん	⑧ おひるごはん
④ すいぞくかん	⑨ ゆうごはん	④ へやできゆうけい	⑨ バスにのる

※ 利用者さんに説明をした写真付きのしおり

## 理事会報告

去る10月10日（水）、緑の風会議室において平成30年度第2回理事会が開催されました。審議事項は以下の通りで、原案通り承認されました。

### 1. 規程類の変更

また報告事項として、上半期事業報告及び理事長の業務執行報告がなされました。

# 麦の会の活動

麦の会 連絡先 TEL: 03-3556-3056  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-7-1  
ニュー九段ビル 5F (緑風舎 気付)

## 「麦の会のつどい」へのお誘い

麦の会チャリティーコンサートに代わる新たな会員の方の交流の機会として、下記の日程で「麦の会のつどい」を開催することになりました。

日時：2019年3月9日(土) 12時開宴(11時30分開場)  
場所：東京・赤坂 アークヒルズクラブ  
チケット料金：9000円

緑の風の活動、福祉を取り巻く社会の情勢(藤村 出 業務執行理事)  
ミニコンサート 演奏：深沢亮子(ピアノ)  
着席ブッフエスタイルのお食事

皆様お誘いあわせのうえ是非お越してください。  
詳しくは、同封のチラシをご覧ください。



チケットのお申し込み

お問い合わせは麦の会事務局まで・・・

TEL: 03-3556-3056 FAX: 03-3556-3057

受付時間：10時から16時(土・日・祝日を除く)

\*11月中旬より申込み受付開始、チケットは2019年1月より順次発送いたします。

## 「緑の風カレンダー」2019年版 販売中です!

麦の会では、緑の風の活動をより多くの方々に知っていただき、さらに支援の輪が広がることを願って毎年おなじみの安田薫子さんによるイラスト・カレンダーを製作しています。年末、年始のご挨拶やお友達へのプレゼントなどにご利用ください。皆様からのご注文をお待ちしております。

(収益は緑の風へ寄付と致します)

カレンダーは一部1,000円(+送料)です。(※送料は、実費をご請求させていただきます。)

ご注文・お問い合わせは 麦の会事務局 TEL:03-3556-3056 FAX:03-3556-3057 まで

\*購入をご希望の方は、同封の振込用紙をご利用ください。



→ 1面「口、つぶやき」より続く

「あかなあ」「わからへんなあ」「なんでやろなあ」となんとも呑気なやりとり  
自転車バラされて、いっこうに直らないぼくは憤慨  
「なおしてーな、なんでわからんのにバラしたんや、アホちゃうか」と

近くにいた大人たちは笑います

「アホちゃうか」って、ちえおくれの子どもに「アホちゃうか」は言わないよなあ、  
子どもはやっぱり正直だ、と

アホはアホ、差別だとか人権だとか世の中はいろいろなことを言いますが、そんな  
上っ滑りなことよりも、ボクと友人との関係は対等です  
仲良く楽しく遊び、お互いにアホ呼ばわりは普通の子ども  
大きくなるにつれて、アホな奴らとの付き合いは減りましたが

ボクにとっては、大事な友だち

今でも懐かしい、いい奴らです

そんな彼らを世の中の人たちが蔑んでいることには、腹が立ちます

障害者、バカ、役立たず、のろい

「バカだからって、バカにするんじゃねえ、俺には大事な友だちだ」

ぼくがいまの仕事に就いた、理由のひとつ

彼らを生かしたい、できることを生かして胸を張って生きさせたい

「この子らを世の光に」

師、糸賀一雄の教えです

(緑の風 業務執行理事 藤村 出)

## お知らせ

### TEACCH 実践研究大会のご案内

自閉スペクトラム症の人たちの生涯に亘る支援を研究し実践する TEACCH プログラム研究会主催（事務局・山梨支部）の「実践研究大会」が下記の日程で行われます。初日は、広く一般の方に発達障害に対する理解を深めていただくために、専門家と発達障害のお子さん（卓球の平野美宇選手の妹）を育てられている平野真理子さんとの対談が予定されています。発達障害のあるなしにかかわらず子育てについて興味深いお話が伺えると思います。

会員以外の方も参加が可能ですので是非ご参加ください。

日程： 2019年2月10日（日）午後（2月11日は TEACCH 研会員のみ）

会場： 山梨県立図書館 イベントホール（山梨県甲府市北口2丁目8-1：甲府駅北口 徒歩2分）

参加費：一般 3,000円（初日）

プログラム： 特別対談「ひとりひとりの個性を大切にすることにいろいろ子育て」

- ・本田秀夫先生（信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 教授、横浜市総合リハビリテーションセンターにて発達障害の臨床と研究に従事、2011年山梨県こころの発達総合支援センター初代所長を経て2014年より信州大学教授）

- ・平野真理子氏（卓球・平野美宇選手のお母様）

\*詳細は、TEACCH プログラム研究会・支部情報（山梨支部）<http://www.facebook.com/TeacchYananashi/>でご確認ください。

### 編集後記

猛暑と自然災害に見舞われた今年の夏、その後いかがお過ごしでしょうか。被災された方へ心よりお見舞い申し上げます。今号より、読者の皆様に幅広く福祉に関する理解を深めていただくために、緑の風・業務執行理事（元長坂センター長）の藤村出さんにコラムを執筆していただくことになりました。今後も興味深いお話が続々と出てくることと思いますのでどうぞお楽しみに。また TEACCH に限らず福祉関係のセミナーなどのお知らせにつきましても随時ご案内させていただきます。皆様のいつも変わらぬご支援・ご協力に感謝申し上げます。（麦の会事務局）

発行元：麦の会 事務局 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-7-1 ニュー九段ビル 3F 緑風舎 気付

TEL：03-3556-3056 FAX：03-3556-3057

会費等の振込先 郵便振込 00160-1-613953 「麦の会」

銀行振込 三菱 UFJ 銀行 神保町支店（普）2224536 「麦の会」